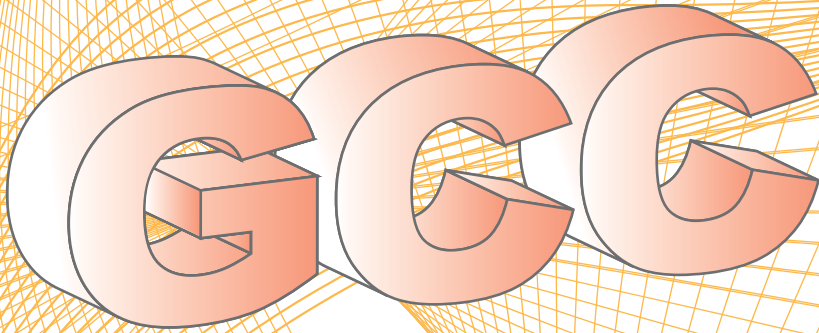


中部グラフィックコミュニケーションズ工業組合会報



Vol 142

Graphic Communications Chubu industry association

[Winter]

冬

発行所 中部グラフィックコミュニケーションズ工業組合
名古屋市中区東1丁目20番地12号 愛知県印刷会館内1階
TEL052-962-5771 (印刷組合共通)
編集人 中部グラフィックコミュニケーションズ工業組合広報委員会

MUDセミナーを開催

メディア・ユニバーサル・デザイン協会 理事
阿部浩之氏

平成24年11月2日(金)、東桜会館において「なぜ企業はメディア・ユニバーサル・デザイン(以下、MUD)に注目し必要とするのか」をテーマに、セミナーが実施されました。

MUDとは印刷物や看板・WEBなどの標示物をよりわかり易く「文字や色の使い方、情報内容・情報伝達方法などに配慮しよう」という考え方です。

セミナーでは具体的な事例を交えながら、今注目されている理由、意識する事、実際の手法等が紹介されました。



講師 阿部浩之氏



MUDが注目・必要とされる理由

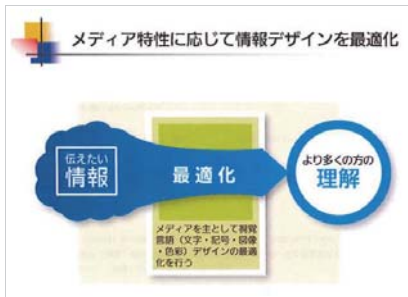
MUDは年齢や能力に関わりなく、全ての生活者に対して適合するデザインを目指す考え方です。

日本人口約一億二千八百万人の内、高齢者は二千九百二十五万人、色覚障

がい者の方は三百二十万人に上ります。効果的な告知・宣伝のためには健常者だけでなく、中・高齢者や障がい者の方々にも配慮した伝え方は必要不可欠であり、多くの企業がMUDに注目しています。自治体では既に各自治体で印刷物に対する指針を制作しており、MUDへの意識の強さが感じられます。

MUDに必要不可欠なこと

UDの原点は、日常感じる色々な不便を理解する事です。健常者にとっては不便の無いことでも、必ずしも中・高齢者や障害者にとっては同様とは限りません。誰もがわかりやすいデザインを行うには、「伝えたい情報を最適化」することが必要不可欠となります。



FUJIFILM

日本市場、XMF史上「最強」。

最適化のスケールが違う。仕事をつかみ取る力が違う。最新のXMFが、いま、古きワークフローの常識を打ち破る。

全国で急速に導入が進んでいます。現場から次々と嬉しい評価が届いています。さらに今回、「シンプルで機能的な独自のユーザーインターフェース」が認められ、2012年度グッドデザイン賞を獲得。日本の市場を見据えた的確な進化により、XMFは、ひと足先にワークフローの未来領域へ突入します。

- XMF PlannerやX Bucketなど多彩なワークフロー製品群とのコラボレーションにより、出力周りの部分最適化ではなく、ワークフロー全体の最適化を実現。
- クラウドを活用し「機種や拠点異なる印刷機」の高精度な色管理が可能^{(*)1}。
- 最新Adobe PDF PrintEngineを搭載し、従来の20~30%の生産性向上を達成。
- 『XMF Remote』がHTML5に対応し^{(*)2}、iPad以外の端末でも、校正作業やジョブの進捗管理が可能。

(*)1 来春商品化予定 (*2) R9.1対応予定



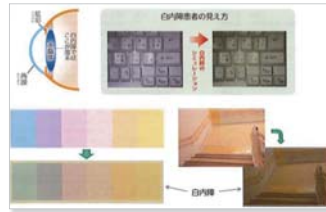
FUJIFILM WORKFLOW
xmf

年齢や能力による見え方の違い

MUDを知るには、高齢者や色覚障がいの方には実際にどう見えるのかを知る事がまずは大切です。特に視覚メディアにおいては、情報の87%は視覚メディアから受け取りますので、その重要性は計り知れません。

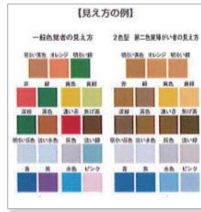
高齢者の方の見え方

高齢者の場合、老眼・白内障・弱視などが原因となり、見えにくいという状況が発生します。例えば白内障を患う高齢者の場合、次のように全体的に濁ったように見えてしまいます。



色覚障がい者の方の見え方

色覚障がい者の方の場合、型によって見え方が異なりますが、どの型に対しても言えることは、組み合わせによっては全く区別なく見えてしまうという事です。



意識が無くまま作成が行われると、障がい者の方には認識が出来ない可能性があります。

分かりやすいデザインをするために

誰もが分かりやすいデザインを意識するために必要と考えられている事は、『書体や組版への配慮、色の使い方への配慮、新しい手法の利用』の3点を意識する事です。全く同じレイアウトでも、書体や行間・文字サイズ、色を少しでも意識することで、見やすさは大きく変わります。

書体の工夫

年齢や能力に影響されずに読みやすい書体は、『視認性が高く、読みやすい』書体です。それをコンセプトとして作られたUDフォントは、書体自体のふところが広く、シンプルで、対称的な文字がしっかりと区別されたデザイン書体であり、MUDに有効的と考えられています。

乗車区間	人数	現金	クレジットカード
新大塚駅	4名1室	51,600	56,100
	3名1室	53,800	58,300
	2名1室	57,200	61,600
大塚駅	子ども	31,700	34,800
	4名1室	28,800	33,300
	3名1室	31,000	35,500
大塚駅	2名1室	34,400	38,800
	子ども	20,300	23,400

従来のフォントを使用したパンフレット

乗車区間	人数	現金	クレジットカード
新大塚駅	4名1室	51,600	56,100
	3名1室	53,800	58,300
	2名1室	57,200	61,600
大塚駅	子ども(A)	31,700	34,800
	4名1室	28,800	33,300
	3名1室	31,000	35,500
大塚駅	2名1室	34,400	38,800
	子ども(A)	20,300	23,400

UDフォントを使用したパンフレット

また行間も字詰め量の量によって適切な行間を作ること、分かりやすいデザイン組版を行う事が出来ます。例えば21字詰の場合は行間は狭めが適切となりますし、45字詰の場合には、21字詰の時と比べて行間を広めに取ることで、見やすい誌面を作る事が出来ます。

色の工夫

同じ書体・ベース色を使用していても、色の組み合わせを代えたり、一手間増やすだけで可読性を向上させる事ができます。



新しい技術の積極的利用に

MUDを行う上では、従来の媒体に縛られる必要はありません。電子媒体やより新しい技術を組み合わせる事も必要です。

まとめ

MUDを意識する上で最も大切な事は『健常者が見やすくインパクトがあること』『障がい者もその違いがわかること』の2点です。

『どんな手法で表現するか』という事よりも『見る方々への気遣いをする事』が最も大切であり、今後更に意識が必要な事となってゆく事と考えられています。

NPO法人メディア・ユニバーサルデザイン協会
 〒131-0023
 東京都墨田区立川一丁目15番一号
 TEL/FAX 03(5663)2970
<http://www.media-ud.org/>

富士フィルムグローバルグラフィックシステムズ発足

世界視点で日本市場の活性化へ



▶挨拶する古森会長兼CEO

富士フィルムグローバルグラフィックシステムズ(株)(渥美守弘社長、以下、FFGS)は、11月13日名古屋マリオットアソシアホテルにおいて新会社発足の説明会と懇親会を開催しました。会場には約四百名の印刷関連業界人が参集。世界視点で日本市場の活性化を目指す新体制を紹介するとともに、具体的な事業の方向性が示されました。

会の冒頭、富士フィルムホールディングスの古森重隆代表取締役会長は次のように挨拶されました。

「富士フィルムの事業は多角化し、6つの事業に重点をおいて取り組んでいるが、その中で、印刷・製版事業は特に重要なもの一つである。本日のように、印刷・製版業界の皆様にお集まりいただき、近況や新鮮な意見が聞ける機会は、私にとって大変重要で貴重な時間だと認識している。新しいFFGSでは、

日本から世界に、世界から日本に、ということを考え方のもとに、最新のオンリワン、ナンバーワンの商品・サービスを提供できる企業を目指していく。」

続いて、渥美守弘社長が挨拶に立ち、「富士フィルムグラフィックシステムズは、富士フィルムのグラフィックシステム事業部と富士フィルムシ

ンブルプロダクツの事業を継承し、富士フィルムグローバルグラフィックシステムズとして新たにスタートした」と、新会社発足について説明。さらに、設立の目的について、「世界の力を『日本』の力に、『新たな挑戦』の推進力に『これが私ども新生FFGSのコンセプトである』と説明されました。

懇親会に入る前に、新会社の役員が紹介され、吉田代表取締役会長の音頭で乾杯し懇談が行なわれました。製造・開発拠点を中心とするグローバルネットワークを構築している」と世界戦略の全体像を紹介され、最後に「今後3年を目前に、三千億円の事業規模を目指す」との方針を表明されました。



SCREEN

Creating a Future in Print

YOUR WISH IS OUR PRINT ON DEMAND

株式会社メディアテクノロジー ジャパン

<http://www.mtjn.co.jp>



名古屋支店

TEL:052-218-6400 東京支店 TEL:03-3237-3111

〒460-0003

名古屋市中区錦2丁目14-21

円山ニッセイビル

大阪支店 TEL:06-6268-6600

福岡支店 TEL:092-436-7081

各種印刷製版用機器・資材販売
製版・油性・UV印刷薬品製造販売

UENO

ウエノ株式会社

名古屋営業所

〒464-0855 名古屋市中区千種区千種通り5-8

TEL 052-741-5351 (代)

<http://www.uenocorp.co.jp>

TOYO INK

生活文化創造企業

www.toyoink.co.jp

東洋インキ製造株式会社 中部支社

Tel: 052-979-7451

KOBUNDOは、
真の「ソリューション企業」へ

クライアントのみならず、クライアントが抱えるユーザーの満足度を満たすために。

KOBUNDO



印刷機材の総合商社
株式会社 光文堂

本店/〒460-0022 名古屋市中区金山二丁目15番18号 TEL 052(331)4111(代)

<http://www.kobundo.co.jp>

イベントレポート

～ 最近開催されたイベントのご紹介～

9月25日 ゴルフ大会

「グリーンヒル関ゴルフ倶楽部」にて、午前9時07分から7分刻み5組に分かれてゴルフ大会が開催されました。参加者・順位は以下の通りです。

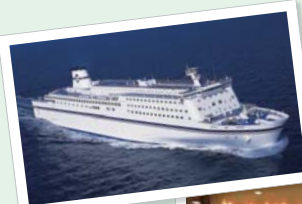
順位	参加者名	順位	参加者名
優勝	北村 英一氏	9位	中田 雅文氏
準優勝	古川 昇氏	10位	伊藤 公一氏
3位	岡村 雅光氏	11位	安東 良吾氏
4位	坂上 利治氏	12位	山口 誠氏
5位	佐野 彰一氏	13位	岡野 功氏
6位	岩田 克彦氏	14位	加藤 啓介氏
7位	吉川 健氏	15位	川本 嘉博氏
8位	今尾 進氏		



10月20日

ランチバイキングクルーズ

乗船後お集まり頂き、理事長から挨拶があった後、今尾副理事長から、本日の注意事項と船内の案内がありました。



沢山の方がご参加されました。

ビンゴ大会で景品をもらいました。



占いコーナーで談笑



11月27日 忘年会

平成24年11月27日（火）に「イーオリエンタルバンケット」にて理事会ののち、CGC工業組合の忘年会が開催されました。

川本理事長の挨拶の後、今尾副理事長より組合活性化のため、新規加入していただける会社をご紹介下さるようお願いした後、FFGS株式会社の熊谷課長様の乾杯のご発声とともに忘年会がスタートしました。

組合員及び関連業者の皆様はおいしい食事とお互いの情報交換、また、新しい仕事への取り組みなどの意見交換でディスカッションし、お互いの交流を深めました。

中メには加藤副理事長の閉会の挨拶とご出席の皆様のご繁栄と健康を願い、1本締めで閉会しました。



報告・お知らせ Information

編集後記

先日ポートメッセ名古屋で開催された「クリエイターズマーケット」を見に行ってきました。紙類から衣服、小物、お菓子等々…大変幅広い商品が並んでいて、その種類は多種多様でした。

何ブースかは出展者の方々とじっくりお話をしたのですが、どなたもご自分の作品に対する思い入れがとても高く、熱い情熱がこちらにも伝わってきました。

その情熱に負けつつ色々買いつぎてしまったのですが、そんな中特に自分が興味を惹かれたのは『いつかは飛べるはず』と必死に羽ばたくペンギンのイラストでした。そのイラストのシールを買ったとき、出展者の方はそのペンギンのその後も話して下さり、ペンギンは無事大空を羽ばたいたとの事。その説明をして下さる時の表情は、とても嬉しそうなお顔をされていました。

制作物に対するクリエイターの皆様の作品への思い入れに感動する、心温かいイベントでした。(山中)

記事を募集しています

本誌「GCC」では、組合各企業の紹介をさせていただいています。紹介したい商品・サービスや、事務所移転、新規店舗展開などありましたら、まずは事務局までお寄せください。

平成25年互礼会

- 日時 平成25年1月29日(火)
新春講演会 16:30～
互礼会 18:15～
- 開催地 名古屋栄「中日パレス」
- 講演会講師
大棟耕介氏 (有)プレジャー企画代表取締役
- 演題 「笑」が組織・社内環境を変える
多数の皆様のご参加
お待ちしております。



第49回新春機材展

～ 変化は未来への投資だ! ～

- 日時 平成25年1月
23日(水) 10:00～17:00
24日(木) 9:00～17:00
- 開催地 名古屋市中小企業振興会館
「吹上ホール」
- 概要 出展企業数100社以上、出展小窓数300小間以上の、光文堂主催の印刷機材総合展示会です。

デザインセミナー

- 日時 平成25年2月16日(土)
13:00～16:30
- 開催地 名古屋国際センター5階
「第一会議室」
- 講師 ウジトモコ氏
(アートディレクター)
- 概要 視覚マーケティングの提唱
価値ある印刷物を活かした
「売れるブランドのしくみ」



お申込み・詳細・ご不明な点等は事務局までお問い合わせ下さい。

☒ 電話
052-962-5771

☒ E-mail
gc-chubu@ai-in-ko.co.jp



高品質な組版を実現する自動組版システム

大量のデータを自動レイアウトでスピード処理。
高品質組版と高生産性を実現。

MDS-B²

— 自動組版システム / モリスワ・ドキュメント・ソリューション —

本社：〒556-0012 大阪市浪速区敷津東 2-6-25 Tel.06-6649-2151
東京本社：〒162-0822 東京都新宿区下宮比町 2-27 Tel.03-3267-1231
<http://www.morisawa.co.jp>

印刷、製版の廃液処理について御相談下さい。

— 貴事業所の排水の水質検査も致します —

- ◎ 定着廃液・古フィルム回収
- ◎ 現像廃液他製版廃液回収
- ◎ 銀回収電解機のレンタル

● 中部工組指定業者 ● 産廃許可業者(全国)

アサヒプリテック株式会社

名古屋営業所 / 小牧市大字上木字久治南 2 3 5 0 0568(476)5981
北陸営業所 / 富山県富山市萩原 5 5 6 - 1 0764(680)0101
神戸本社 / 神戸市東灘区魚崎浜町 2 1 078(431)2981

住友の伸銅品、アルミニウム
印刷用銅版、亜鉛板

兼岩株式会社

ノースセンター 西春日井郡新川町大字阿原字鴨池188番
電話 052>401 - 0555
本社 名古屋市中区伊勢山二丁目5番9号
電話 052>332 - 0555 代表

造る印刷から創る印刷へ

株式会社 コムテックス

名古屋支店 名古屋市中川区野田1-609
TEL 052-369-1221

フィルム・写真定着・現像液
廃液・スラッジ・PS現像・ダウ液回収

東洋金属株

TEL.0587<93>3399
愛知県丹羽郡扶桑町
大字南山名字名護根 6 0 - 1



KONICA MINOLTA

コニカミノルタに全てお任せください。

色校正

Digital Konsensus Premium Ultimate Edition

Folbard AQUA

デジタル印刷

bizhub PRESS C7000

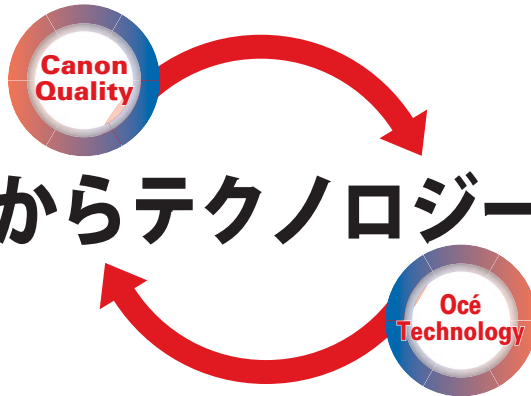
環境対応プレート

ケミカルレスCTPシステム

BLUE EARTH

コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

デジタルイメージング事業部 中部営業部：〒460-0008 名古屋市中区栄2-9-15 三井住友海上名古屋しらかわビル11F TEL.052-229-4624(代)



新たな連携からテクノロジーは進化する

1 大量印刷でも安定した色味と高画質を維持

1200dpi/256 階調の高品位画像を再現する赤色ツインビームレーザーと、色味の安定性を維持する独自の特殊コーティングを施したE ドラムを搭載しています。また、現像器のエアフローの効率化で熱による現像剤やトナーの劣化を抑止したほか、下エアフローの追加でトナー飛散量を低減。大量印刷でも高画質かつ色味の安定した出力が行えます。

2 多彩なニーズに応える用紙対応力

用紙の特性に合わせて定着方式やカール補正量など画質や搬送性を調整することが出来るため、幅広い用紙に対応出来ます。また、斜行レジの調整機構にモーターを追加し、斜行調整の電動化や画像位置とズーム倍率調整を効率化することで、表裏見当調整の時間を短縮します。

3 直感的な操作で業務効率化を推進

直感的で使いやすいPRISMAsync コントローラーは、すべてのジョブの運用管理を1箇所でコントロール。登録された設定やメディアに基づいて、適切な出力プロファイルを選択し、色域を決定します。ドライバやPC 端末のユーザインタフェースに左右されず、すべてのジョブは同じように高精度に処理されるため、顧客ニーズに迅速に対応することが可能です。ピーク生産時でも処理を自在に再割り当てすることで、出力ミスの削減やスループットの向上を促し、作業時間の短縮につながります。

4 無駄を省いた正確なメディアの同期

PRISMAsync コントローラーは、すべてのオペレーターに共通の「メディアカタログ」を搭載。設定から印刷まで一元管理されたメディアカタログを使用することで、印刷にかかわるメンバー間の作業指示を明確にし、設定間違いを未然に防止します。メディアカタログの内容は、ブラウザ経由で追加、変更、削除することが可能です。オペレータ全員が同じ定義済みの用紙銘柄を扱うことで、別刷りの無駄を減らす強力な共有ツールです。

imagePRESS
C7010VPS



◎オンデマンドプリンター ホームページ

canon.jp/pod-printer/

◎高速・連帳プリンター ホームページ

canon.jp/océ



◎お問合せ先
プロダクション向け
複合機

050-555-90053 / オセ 03-6719-9642

【受付時間】平日9:00~12:00/13:00~17:00(土・日・祝日および年末年始弊社休業日は休ませていただきます。)

※海外からご利用の方、または050からはじまるIP電話番号をご利用いただけない方は043-211-9662をご利用ください。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。